

【第26回中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表大会に出場】

8月19日～20日の日程で島根県松江市にて行われました。理数科3年の化学研究班が、「フッ素樹脂 (PTFE、PCTFE) の再生利用を目指して」の研究テーマでポスターセッションを行いました。半導体製造に必要不可欠なフッ素樹脂の再生利用について、他県の生徒に堂々と発表していました。また、他校の生徒からの質疑応答等も積極的に行いました。2日目はステージ発表に参加し、他校の最新の研究発表を鑑賞でき、今後の研究の参考になりました。宍道湖の夕日はとてもきれいでした。



【1年*SSコースが阿蘇で研修】

8月2日(金)に京都大学 大倉 敬宏 教授より事前研修を受けた後、阿蘇火口・草千里のフィールドワークを行いました。天気にも恵まれ、火口を直接見ることができました。また、熊本地震震災ミュージアム KIOKU の見学を行いました。震災発生時の映像やガイドの方の解説とともに実際に地震の被害に遭った旧東海大学阿蘇キャンパスや熊本地震の地表地震断層を見学しました。阿蘇の火山地形や植生の違い等について深く学び、自然のエネルギーの大きさやそのような中でどのように自然と共生していくかを考える機会となりました。



【第11回全国高等学校ビブリオバトル熊本県大会で優勝】

8月12日(月)にくまもと森都心プラザ大ホールで開催されたビブリオバトル県大会で、図書副委員長の家入さん(2-1)が優勝しました。ビブリオバトルは、自分のイチオシの書籍を紹介する競技。家入さんは、落ち着いて、ハキハキ明るく、しかし意味深に、小説「方舟」(タ木春央著)の世界を観戦者に紹介しました。発表後、会場からは多数の質問が寄せられ、家入さんは的を射た応答によって、会衆は更に物語の世界に誘われていました。



他校の生徒の皆さんが発表した書籍も紹介します。

「変な科学」(五十嵐アンナ著) / 「天久鷹央の推理カルテ」(知念実希人著) / 「ケーキの切れない非行少年たち」(宮口 幸治著) / 「ほぎわんが、来る」澤村伊智著 / 「透明な夜の香り」千早茜著

【新しい生徒会が始動】

去る6月12日(水)、大津高校では新生徒会長・副会長を決めるための立会演説会と投票が行われました。複数の候補者の中から、生徒会長 系永さん(2年生/野球部/高森中出身)、副会長 中作さん(2年生/サッカー部/播磨中出身)、下川さん(2年生/体操部/南阿蘇中出身)が決定し、また新しい大津高校がスタートすることになりました。同時に、6月末日をもって現3年生が率いる生徒会活動が終了し、7月から新役員での活動が始まりました。新メンバーは2年生13名、1年生10名の計23名で運営していきます。大津高校は生徒会活動がとても盛んな学校です。2学期が始まるとすぐに大きなイベントのひとつである「文化祭」が開催されます。今年は2日開催! 9月28日(土)は一般公開もありますので、ぜひ足を運んでみて大津高校を感じてくださいね♪

*SSコース…国公立大学や私立大学への進学を目標とする生徒を対象としたクラスで、2年次からは希望に応じて理数科、普通科(理系)、普通科(文系)に分かれます。